

# 土着天敵を活用して殺虫剤の使用を 半減できるイチゴ育苗期のIPM

病害虫部

## 1 背景、目的

福岡県の代表ブランドであるイチゴの「あまおう」栽培では、防除の省力化やコスト低減を目指し、化学農薬の使用を削減したIPM（総合的病害虫管理技術）の確立が望まれています。

これまでに、本ほにおけるIPMを確立しました（平成21年度後期成果情報）。今回、育苗期についても、県内に生息する土着天敵を上手に活用したIPMを確立しました。

## 2 成果の内容、特徴

- 1) このIPMは、福岡県内全域に生息する土着天敵と、土着天敵に影響の無い効果的な薬剤を組み合わせた防除システムで、簡単に利用できるように防除手順をスケジュールにしています（図1、表1）。
- 2) 防除が困難なハダニ類とアブラムシ類の土着天敵であるハダニアザミウマ、アブラコバチ類を上手に活用できるため、殺虫剤の散布回数とコストを半減することができます（表2）。
- 3) このIPMの詳細は、福岡県病害虫・雑草防除の手引き（<http://www.pref.fukuoka.jp/d05/tebiki.html>）に掲載しています。

### 3 主要なデータなど



ハダニ類の天敵  
「ハダニアザミウマ」



アブラムシ類の天敵  
「アブラコバチ類」

図1 福岡県に生息する有力な土着天敵

表1 土着天敵を活用した育苗期のIPM

月	旬	管理作業	主要害虫(実線)とその土着天敵(破線)の発生時期				
6月	中	切り離し	ハダニ類	ハダニアザミウマ	アブラムシ類	アブラコバチ類	チヨウ目害虫
	下						
7月	上		ハダニ類	ハダニアザミウマ	アブラムシ類	アブラコバチ類	チヨウ目害虫
	中						
	下						
8月	上	苗処理 <sup>2)</sup>	ハダニ類	ハダニアザミウマ	アブラムシ類	アブラコバチ類	チヨウ目害虫
	中						
	下						
9月	上	定植	ハダニ類	ハダニアザミウマ	アブラムシ類	アブラコバチ類	チヨウ目害虫
	中						
	下						

注) 1. ○は土着天敵に影響のない薬剤の散布適期を示す。  
2. 夜冷短日処理、低温暗黒処理の作型での散布時期を示す。

表2 育苗期のIPMと慣行防除体系との防除コストの比較

	殺虫剤散布回数 (成分回数)	薬剤費(円)
IPM	2~5	1,500~3,000
慣行防除	8~11	4,800~6,900